

# 授業科目 セクシュアリティ看護学概論

【担当教員名】 塚本 康子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		
【概要・一般目標：G10】 セクシュアリティを護り支える看護を考究していくために、セクシュアリティの概念や最新の動向と問題を検討する。また、看護を展開していくときに必要な基礎的理論として、親子関係、母子関係について学び、看護の果たすべき役割と機能について考察する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルスの概念を説明できる。</li> <li>2. ヒトの発生と胎児の成長について説明できる。</li> <li>3. 生殖器官の形態と構造、性機能、性周期について説明できる。</li> <li>4. 出産をめぐる歴史の変遷と動向について説明できる。</li> <li>5. 基礎的理論として、親子関係、母子関係について説明できる。</li> <li>6. 女性のライフサイクルにおける健康問題を理解できる。</li> <li>7. リプロダクティブヘルスケアとして、家族計画と性感染症を理解できる。</li> <li>8. 母性看護に使われる看護技術を理解する。</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ヒトの発生と胎児の成長		1.2	講義、担当：塚本 康子
2	人間の性と生殖の概念、性周期		3	講義、担当：塚本 康子
3	セクシュアリティとリプロダクティブヘルスの概念、母性看護の特性		1.2.3	講義、担当：塚本 康子
4	出産をめぐる歴史の変遷と動向		4	講義、担当：塚本 康子
5	基礎的理論－親子関係、母子関係		5	講義、担当：塚本 康子
6	女性のライフサイクルにおける健康問題		6	講義、担当：塚本 康子
7	リプロダクティブヘルスケア－家族計画・性感染症		7	講義、担当：塚本 康子
8	母性看護に使われる看護技術		8	講義、担当：塚本 康子 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論	森 恵美、高橋 真理、工藤 美子	医学書院 2014・2,400円
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 定期試験 50 点、レポート課題 50 点。		【履修上の留意点】 たくさん文献を読みましょう。		